

令和6年度 墨田区立両国小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 渡邊 圭三

学校教育目標	進んで学ぶ子ども たくましい子ども 心の温かい子ども
目指す学校像	○子供たちが誇れる学校 ○保護者に信頼される学校 ○地域とともにある学校 ○教職員が生き生きとした学校
目指す児童像	知徳体のバランスのとれた、進んで学び、心身共にたくましく、心の温かい子供
目指す教師像	広い視野と高い指導力をもち、常に子供と向き合える教師

○令和6年度 学校経営計画における重点内容
 ・GIGAスクール構想を継続し、一人1台端末やICT機器を効果的に活用し、「わかる」「できる」授業の更なる推進と個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現を図る。
 ・豊かな心を育成し、落ち着いた学校生活ができるようにする。一人一人の違いや良さを認め合える心情を育み、誰もが安心して学校生活を送れるようにする。
 ・服務事故の防止として、自覚・認識・当事者意識、管理監督者の危機意識、継続的指導を心掛ける。会計管理、個人情報保護等、今一度、自らの職責を十分に認識し、サービスの厳正に努める。

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
各教科指導等	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。	一人1台端末を「学びのパートナー」として主体的に活用して授業力向上を図る。	4	一人1台端末を利用した授業実施率90%以上	4	4	意識調査一人1台端末による話し合い肯定率80%以上	3	5年生73.4P、6年生73.9Pとなった。学年進行に伴い、微増であるが上昇傾向が見られる。	・ICT機器の効果的な活用 の研修を行い、指導方法の工夫改善に生かす ・教材等の共有財産化を進め、更に組織的に授業改善に取り組む	A	B	・学力と本校の教職員について、このまま高い水準を保っていただきたい。 ・低学年の授業を見たが、活用がうまく来ていない子がいた。 ・ICT機器の効果的活用も良いが、紙を使った教材も必要なのではないか。数字、漢字等、書くことは必要だと思う。 ・タブレットが遊び道具になってしまっている様子が見られる。
			3	同 80%以上		3	同 70%以上						
			2	同 70%以上		2	同 60%以上						
			1	同 60%以上		1	同 50%以上						
	教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。	「若手OJT」「ショートOJT」を実施し、各自が保有する専門的な研修や実践の成果を共有し、授業力に生かす。	4	教員のOJT実施率90%以上	4	4	学校評価アンケート「教職員は熱心に日常の教育活動に取り組んでいる」肯定的評価95%以上	4	保護者回答の肯定率は96.6%であり、成果指標を1.6P上回った。	・教員相互の授業参観を活性化 する ・区や都の研修制度を活用し、自己の教科指導の専門性を高めさせる	A	A	・取組について大変良く実施され、成果も出ている。 ・学校公開にて、若手の先生方がベテランの先生方の指導を受けている場面を見かけることが多くあった。
			3	同 80%以上		3	同 85%以上						
			2	同 70%以上		2	同 75%以上						
			1	同 60%以上		1	同 65%以上						
	体力向上を図る取組を推進する。	年間計画に基づき「持久走月間・長なわチャレンジ」等体力向上の取組を実践する。	4	「持久走月間・長なわチャレンジ」実施状況肯定的評価90%以上	4	4	体力テスト男女別都平均超50%以上	2	1～6年生男女別96項目において都平均を上回ったのは32.2%であった。	・体力向上プランを実践し、体育科の授業改善を図る ・各体育的行事の反省を生かし、児童にとってより充実したものに する	A	B	・体力向上は学校だけでは難しいと思う。 ・体力テストの点数が平均を下回る原因は何なのか。 ・実際には平均値はあまり気にしない方が良いと思う ・改善の具体策があると分かりやすいと思う。 ・体力テストで低いスコアなのは残念に思う。引き続き、子供たちが楽しみながら体力向上を目指す取組を期待している。
			3	同 80%以上		3	同 40%以上						
			2	同 70%以上		2	同 30%以上						
			1	同 60%以上		1	同 20%以上						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
生活指導等	いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。	生活指導部を中心に、いじめ防止、不登校及び長欠予防に向けた部会を定期的に行い確認する。	4	いじめ・不登校未対応件数ゼロ	4	4	学校評価アンケート「子供たちは毎日明るく楽しく学校生活が送れている」肯定的評価90%以上	保護者回答の肯定率は95.0%で、成果指標を5.0P上回った。	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止授業を年3回実施するとともにSNSルール等の内容を指導徹底する 一人1台端末の利用を家庭と連携しルールを守る指導を徹底する 	A	B	<ul style="list-style-type: none"> 100%を目指していたきたい。不登校の話をつまに聞くが、個別案件を解決するには改善方策が不十分であると感じた。 いじめ防止授業は多い方が良し、端末の家庭連携も良いことだと思う。 使用時間を決めて、一定以上やらないように、家庭でも厳しくすることが大切なのでは。 いじめではないものの、いやなことをされたり言われたりは多々あるようだ。学校外での公園遊びも目に余る遊びをしていて心配である。 子ども同士、勝手にメールアドレスを交換していることもあるので、SNSの危険性について必要以上に行っていたきたい。
			3	同 +5相当		3	同 80%以上					
			2	同 +10相当		2	同 70%以上					
生活指導等	基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。	手法を工夫しながら、基本的な生活習慣の徹底を図る。	4	あいさつ活動、なかよしタイム等実施状況肯定的評価90%以上	4	4	学校評価アンケート「心の教育に熱心に取り組んでいる」肯定的評価90%以上	保護者回答の肯定率は93.6%で、成果指標を3.6P上回った。	<ul style="list-style-type: none"> 道徳教育の充実を図る 「学級挨拶運動」等、手法を工夫し、基本的な生活習慣の徹底を図る なかよし班活動を行い、関わり合いを深め、思いやりの心を育てる 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> なかよし班活動は、たてのつながりをもてるとても良い機会だと思う。特に高学年は成長できる大切な機会のように感じる。 挨拶は人と人とのつながりの基本。表面上の挨拶ではなくて、心のこもった挨拶をどうすれば出来るか教えていただきたい。
			3	同 80%以上		3	同 80%以上					
			2	同 70%以上		2	同 70%以上					
			1	同 60%以上		1	同 60%以上					
生活指導等	危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。	安全指導と安全点検を徹底するとともに、毎日の看護当番や引率時の安全確保を徹底する。	4	各種安全指導の研修会実施状況肯定的評価90%以上	4	4	学校評価アンケート「健康・安全の指導が適切」肯定的評価90%以上	保護者回答の肯定率は91.8%で、成果指標を1.8P上回った。	<ul style="list-style-type: none"> 毎日の看護当番や引率時の安全確保を徹底する 毎月の避難訓練、安全点検、研修会実施により危機管理意識をの高揚を図る 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> PTAによる組織的な防災訓練が自主的に行われていて、好評価である。 階段を急いで上り下りしている子を多く見かける。高学年だと大事故につながる危険性もある。廊下を走らないだけでなく、ゆっくり歩くことも気を付けてほしい。 近隣の工事に対しての安全面の指導はされているか。
			3	同 80%以上		3	同 80%以上					
			2	同 70%以上		2	同 70%以上					
			1	同 60%以上		1	同 60%以上					

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。	体罰の根絶をはじめ、服務等の規律を正し、適正な管理運営を図る。	4	4	4	4	体罰・不適切な指導ともに0であった。	・体罰防止セルフチェックや人権感覚チェックシートを活用する ・教職員の自己申告書に目標設定し、服務規律の徹底を図る	A	A	・前回の協議会での授業参観で拝見し、好評価である。 ・体罰、不適切な指導はあつてはならない。 ・外部指導者による部活動で、体罰や暴言がないかチェックしているか。
	4	3	2	1	3	2	1	4	A	A	・体罰、不適切な指導なし 同 +1 相当以内 同 +2 相当以内 同 +3 相当以上
学校の管理運営	子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。	一人一人の児童の実態把握に努め、特に補充学習や特別な教育支援が必要な児童に丁寧な指導を行う。	4	4	4	4	学級対応のため、一時的に3～6年生の少人数算数が実施できていない。 保護者回答の肯定率は95.5%で、成果指標を5.5P上回った。	・児童の視点に立って諸取組を推進するとともに、常に修正・精選・見直しの観点をもつ ・全学年算数少人数指導を継続し、適切に評価する	B	B	・教科で様々な取組が行われていると思う。子供たちの興味・好奇心を刺激するような取組を引き続きお願いしたい。 ・高学年になるほど算数が難しくなり、落ち込みやすいので、補習授業をしてほしい。 ・算数少人数指導を強く希望する。 ・1年生全クラスに補助の先生が入っていることに驚いている。 ・教職員に無理のかからないようにしてほしい。 ・原因が分かっている改善方策なのかよく分からない。 ・少人数で勉強した場合とそうでない場合で、どのくらい成績に差があるのか。
	4	3	2	1	3	2	1	4	B	B	同 80%以上 同 85%以上 同 80%以上 同 75%以上
学校の管理運営	適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。	外壁・校章・掲示板・空調・照明等の改善を図るとともに、ICT環境・読書環境の更なる充実を図る。	4	4	4	4	保護者回答の肯定率は97.9%で、成果指標を2.9P上回った。	・全校児童が周年への意識が高まる環境整備に努める ・老朽化に伴う施設改善は、区と連携しながら工事等を計画する	A	A	・オール両小で輝かしい150周年を迎えられることを願っている。 ・老朽化に伴う改善は、より早めるべきと考える。 ・下駄箱の場所が暗いし、なんとか改善できないか。 ・プールの更衣室に冷房がなく、とても危険である。熱中症対策として改善してほしい。
	4	3	2	1	3	2	1	4	A	A	施設面の不具合を理由とする学校事故ゼロ 同 +2 相当以内 同 +5 相当以内 同 +5 相当以上
学校の管理運営	保護者と学校が連携しながら望ましい家庭学習習慣の確立を図り、児童の学びを深めさせる。	「まなびスタンダード」を徹底するとともに、保護者の協力の下、「ミライシード」等の効果的な活用により、家庭学習の充実を目指す。	4	4	4	4	保護者回答の肯定率は94.2%で、成果指標を4.2P上回った。	・4月にスタンダードを徹底し、望ましい家庭学習習慣の確立を図る ・保護者の協力の下、「ミライシード」等の効果的な活用により、家庭学習の充実を目指す	A	A	・全項目、保護者回答が成果指標を上回っており、良いと思う。 ・まなびスタンダードを徹底するということは、どうということなのか。 ・ミライシード、少し難しいと感じないか。
	4	3	2	1	3	2	1	4	A	A	全校で「まなびスタンダード」の徹底肯定的評価90%以上 同 80%以上 同 70%以上 同 60%以上

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価		
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等
家庭・地域連携	「ふるさとすみだ・両国の誇り」をもたせ、児童の全人的成長を図る。	地域人材・教材を生かした学習、地域との協働による教育活動をさらに活性化する。	4	地域人材や施設等を利用した体験的な学習の実施肯定的評価90%以上	4	学校評価アンケート「PTAや地域での活動に協力的」肯定的評価95%以上	保護者回答の肯定率は97.9%で、成果指標を2.9P上回った。	・地域人材を生かした授業を推進し、地域から学び、地域の一人としての自覚を高める ・地域連携をテーマにした校内研究授業4回実施する	A	A	・常に地域連携を密にしていきたい、ありがたい。 ・地域でのイベントなど、活動に協力的で良いと思う。 ・両国小学校ということに誇りをもって協力してくれる先生方や地域の方がいて、感謝している。 ・地域の歴史と人物について、勉強する機会を作ってほしい。 ・元々、地域との結びつきが強い両国小だが、来年度は150周年に向けてさらに地域連携の意識が高まることを期待している。
			3	同 80%以上	3	同 85%以上					
			2	同 70%以上	2	同 75%以上					
			1	同 60%以上	1	同 65%以上					
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。	学校便り・ホームページの更なる充実と、学校情報連絡システム(COCOO)により、保護者と学校の情報共有を推進する。	4	学校ホームページ毎日更新	4	学校評価アンケート「情報を適切に発信」肯定的評価95%以上	保護者回答の肯定率は97.7%で、成果指標を2.7P上回った。	・デジタル化も含めた適切な方法で教育活動の内容・実施状況等を分かりやすく伝える ・ホームページ更新を積極的に行い、情報発信に努める。	A	A	・学校からの便りは良い。 ・情報共有が整備された環境に尽力されていることに感謝したい。 ・スマートフォンを使って情報を共有することは良いと思う。 ・HPの特に給食の写真は卒業した子供たちも懐かしく思い出すことが出来、楽しみにしている。美味しいメニューは心に残っているようである。 ・学校HPを毎日更新されているのを知らなかった。知らない保護者は多いと思うので、周知していただきたい。 ・町会のHPを作成しているが、どうしても両小の記事を載せるのを遠慮してしまう。子どものプライバシー優先のため、写真・氏名掲載が出来ないのが悩みの種である。
			3	同 週3日程度	3	同 85%以上					
			2	同 週1日程度	2	同 75%以上					
			1	同 2週1日程度	1	同 65%以上					

○令和6年度 学校経営報告のまとめ(総括)

・今年度の学校評価は、保護者アンケートでは「教職員の対応」「教育目標」「校内の環境整備」「情報発信」等において高評価を、学校関係者評価では「教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組」をはじめ8の項目において自己評価・改善策とも学校の示したものに適切である、との高評価をいただいた。

・今年度も「質問紙回答アプリ」を活用して保護者アンケートを実施し、回答率は昨年度比3.0ポイント増加し、92%であった。運営連絡協議委員の方からも、学校の回答率を高める取組に対して称賛の声をいただいた。今後も多くの家庭から回答いただけるよう、引き続き周知していく。

・保護者アンケートにおいて評価の低かった項目では、「分からない」と回答したのが一定程度見られた。学校の良い取組を全家庭に適切に情報発信し、保護者や地域との連携を確実なものにしていく。

・来年度は本校にとって大きな節目となる「開校150周年」を迎える。子供たちの愛校心・地域愛を育むまたとない機会であり、委員の方からも地域連携を大切にしたい教育活動が推進されることへの支援の声が多数寄せられた。これからも社会に開かれた教育課程の編成・実施に努めるとともに、状況に応じた教育活動の工夫をたゆまず進め、子供たちが「両国小学校に通える喜び」を日々実感できるよう、本校への期待に応えていきたい。